

# 二〇周年記念

Iijima Hall *The 20th Anniversary of the Founding of Tokyo Gakugei University*

# 飯島会館

## 刻苦勉強と創意献身の人・飯島藤十郎

飯島藤十郎氏は、1910(明治43)年に東京郊外の三鷹村に農業と雑穀雑貨商を営む飯島源蔵・ラクの長男として生まれました。15歳のとき父を失い、中学を中退して新宿中村屋に勤めます。新宿中村屋大旦那、相馬愛蔵氏は当時著名なクリスチャンビジネスマンで、藤十郎氏は新宿中村屋の経営哲学に深い影響を受けました。

向学の心やみがたく、新宿中村屋をやめ、1931(昭和6)年、本学の前身である豊島師範二部を受けて合格します。50倍の難関を突破したことが「為せば成る」の自信を氏に与えました。在学中は、陸上競技部で活躍。800、1500メートルで数々の記録を出し、豊島師範陸上競技部の黄金時代を築きました。

卒業後、教育者の道を歩みます。最初の勤務校は東京向島第一寺島小学校でした。ついで赤坂仲の町小学校に勤務。体育実技と理論の研究会を組織して体育の向上をはかり、熱心な指導で進学実績を上げるなど、教育者として大きな評価を受けました。

さらに中等教員検定に合格して、東京府立航空工業学校に体育教師として赴任。軍事色の強いスパルタ教育全盛の時代に合理的な体育指導を実践すると共に、運動場作りやモッコ担ぎなど常に生徒たちと共にあり、親しみをこめて「藤さん」と呼ばれ、大変敬愛されました。その後召集され、軍隊生活を4年間送ります。

戦後、軍隊生活をした市川市の練兵場を開拓する営団にそのまま入植しました。そこで東台農業実行組合を設立し、氏の指導と創意工夫によって、組合は多くの収穫と収益を上げるようになります。こうした経営の経験や、キティ台風で被災した濡れわらを肥料用にして小麦と交換したことなどを契機に、中村屋の大旦那から学んだ企業家精神が氏の中で大きく芽をふきます。

1948(昭和23)年、山崎製パン株式会社を市川市において創業。前記東台農業実行組合との仕事の関係で飯島名義が使えないため、未亡人となって苦勞していた妹、裕代さんの嫁ぎ先の姓・山崎を会社名としました。現在のヤマザキパンのはじまりです。

以来、新宿中村屋の大旦那の教えである「良いものを自分でつくって安く売る」を社の精神とし、食糧難の時代に「お客の一番欲しているサービスをすること」をモットーに事業を展開していきます。やがてヤマザキパンは、両国工場、杉並工場と発展し、1960(昭和35)年には、首都圏に本格的に進出します。



この間、氏は世界水準の製パン技術を知るため、たびたび欧米先進国の業界視察を行い、欧米のパン産業やパン文化の在り方を深く学びました。このことは、その後の日本のパン産業の近代化と技術革新に大きく貢献しました。

「良品廉価」「顧客本位」の経営理念と実績は広く受け入れられ、1966(昭和41)年の大阪進出を契機にヤマザキパンの事業は全国展開を遂げます。また、日本パン工業会の活動を通じて、製パン技術の向上と食生活の改善にも尽力しました。

時代を読む先見性、リスクに果敢に挑戦する精神力と決断力、そして教員時代の生徒指導で培った一人ひとりの力を引き出す啓発力、総力結集の組織力に優れ、そのリーダーシップによって山崎製パン株式会社は大きく発展します。

1969(昭和44)年は、本学が新制大学として出発して丁度20年目に当たっていました。それを記念して「20周年記念会館」の建設が計画されましたが、氏はその建設費の半分以上を寄付して下さいました。当会館は、以後今日に至るまで、本学の施設で最も利用頻度の高い建物として活用・愛用されています。

その後、氏はキリスト教への関心から、キリスト教とキリスト教精神に基づく経営学の研究に力を傾け、クリスチャン実業家たちとの交流を通じて、1973(昭和48)年に洗礼を受けました。

武蔵野工場の全焼などの幾多の苦難を乗り越え、晩年は食品に関する基礎科学の発展に寄与するため、研究者への助成事業を中心とした飯島記念食品科学振興財団の設立をはじめ、国際的民間慈善団体ワールド・ビジョン・ジャパンなどへの支援を通じて、世界の貧困や抑圧に対して、財と知と技術を提供するなど多彩な社会貢献事業を行いました。

氏は1989(平成元年)、79歳で他界されました。次に氏の好んだ聖書の言葉を掲げます。

一粒の麦、地に落ちて死なずばただひとつにてあらん、もし死なば多くの果を結ぶべし

(ヨハネ12:24)



[20周年記念飯島会館]の命名にあたって本館は、本学の創立20周年を記念して、1969(昭和44)年に建設されました。この建設基金は同窓会関係者のご尽力により集められましたが、目標額を大幅に下回り、一時、計画を断念せざるをえない状況に立ち至りました。そのことを耳にされた、当時山崎製パン株式会社社長の飯島藤十郎氏(本学の前身校の一つである東京第二師範学校〔豊島師範〕卒)が残る必要経費を全額寄付され、無事着工することができました。爾来今日に至るまで、本館は極めて使用頻度の高い本学の重要施設となっております。ここに飯島藤十郎氏の遺徳を偲び、本館を『20周年記念飯島会館』と命名し、本学の歴史に刻むことといたします。

山崎製パン株式会社 社長

飯島 藤十郎

2006年2月27日

国立大学法人 東京学芸大学



▲ 飯島会館の外観 (絵はがきコンテスト入賞作品より 奥友 絵里子 / Eriko Okutomo)

[アクセス]

- JR 武蔵小金井駅・北口より  
京王バス【小平団地行】約10分  
「学芸大正門」下車・徒歩約5分  
徒歩の場合は約20分
- JR 国分寺駅・北口より  
徒歩約18分

20周年記念  
Iijima Hall The 20th Anniversary of the Founding of Tokyo Gakugei University  
飯島会館

国立大学法人 東京学芸大学 [20周年記念飯島会館]  
〒184-8501 東京都小金井市貫井北町4-1-1

● 飯島会館ロゴデザイン：石井 健・正木 賢一